

授業科目	心理学(2 年制コース)					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	水貝 洵子／杉本 有紗										
授業概要	心理学は、人間の心や行動を科学的に研究する学問である。本講義では、心理学の諸概念について解説するとともに、参加型・体験型の個人ワークやグループワークを積極的に行い、心理学についての体験的な理解を目指す。										
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク ディスカッション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 心理学の基本的な知識を理解し、説明することができる。 2. 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。										
理想的レベル	標準的レベルに加え、心理学の基本的な知識を理解し、現実場面での様々な問題を考えるときに応用することができる。 また、心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験											
小テスト											
レポート			100			小レポート、最終レポート					
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH10401J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
講義内容の復習										4	
授業計画											
第 1 回	テーマ：オリエンテーション（担当：杉本有紗） 授業の進め方について説明する。また、心理学とは何かについて概説する。										
第 2 回	テーマ：感覚（担当：杉本有紗） 感覚の働き、性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。										
第 3 回	テーマ：知覚（担当：杉本有紗） 注意の働き、知覚の働きについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。										
第 4 回	テーマ：記憶（担当：杉本有紗）										

	記憶の過程、感覚記憶、短期記憶、長期記憶について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第5回	テーマ：学習（担当：杉本有紗） 新しい行動を身につけて環境に適応するための「学習」について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第6回	テーマ：動機づけ（担当：杉本有紗） 生理的動機づけ、社会的動機づけについて解説する。（担当：杉本有紗）
第7回	テーマ：情動（担当：杉本有紗） 情動について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第8回	テーマ：ストレスとストレスコーピング（担当：杉本有紗） ストレス、ストレスコーピングについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第9回	テーマ：対人認知（担当：水貝洵子） 対人認知の過程について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第10回	テーマ：社会的態度（担当：水貝洵子） 態度形成、態度変容について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第11回	テーマ：対人コミュニケーション1（担当：水貝洵子） コミュニケーション過程や言語コミュニケーションの性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第12回	テーマ：対人コミュニケーション2（担当：水貝洵子） 非言語コミュニケーションの種類や性質について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第13回	テーマ：自己認知（担当：水貝洵子） 自己開示や自己理解の過程などについて解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第14回	テーマ：集団と個人（担当：水貝洵子） 集団による個人への影響、個人による集団への影響について解説する。適宜、個人ワークやグループワークを実施する。
第15回	テーマ：まとめ（担当：水貝洵子） これまでの授業を振り返る。
テキスト	指定しない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『エッセンシャル心理学』長谷川千洋編 ナカニシヤ出版 『はじめて出会う 心理学』長谷川寿一、東條正城、大島尚、丹野義彦、廣中直行著 有斐閣 『図説 社会心理学入門』齊藤勇編著 誠信書房 その他、適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。もしくは、適宜レポートの質問内容を授業内で取り上げて回答を示す。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結び付けてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。